

過疎地域における移動販売のための “もやいマップ”の開発

NPO 法人
urban design partners
balloon
鈴木亮平

キーワード

買い物弱者／過疎地域／モビリティ／コミュニティ／ウェブマッピング

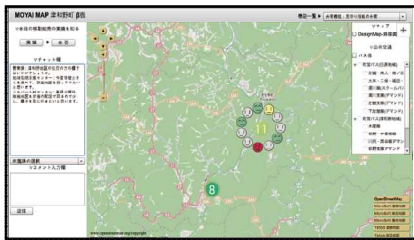
過疎化・高齢化が進む地域での生活基盤の構築

- ⇒ 中山間地の集落で巡回している移動販売車に着目
 - △ 買い物に行けない高齢者に**買い物の場**を提供するだけでなく、同時に、住民同士の**交流の場**、さらには定期的に顔を合わせることで、単身高齢者の**見守りの場**にもなっている。
 - ⇒ ①移動販売の持つ生活を支える機能を強化する
 - ②販売自体の効率性を上げ、経営が難しいとされる移動販売をより持続的にし、集落を支える仕組みとする
- この2つを狙いとした web-map を開発中



対象地：島根県津和野町
中心部は「小京都」とうたわれる観光地だが、山間部には限界集落と呼ばれるような集落が点在している。高齢化率は40%を上回り、日本で最も高齢化が進んでいる地域の一つ。「もやいマップ」は、津和野を含む石見地方の方言で、「お互いに助け合うこと」という意味の「もやいやっこ」からつけた。

● “もやいマップ”の機能 ●



■ 移動販売情報の検索

- 「日付」「地域」「店舗」
- ⇒ 様々な媒体で周知
 - ・データ放送 (CATV)
 - ・ニュース番組
 - ・地域新聞
 - ・インターネット
 - ・情報端末 (CATV)

■ 他レイヤーと重ね合わせ

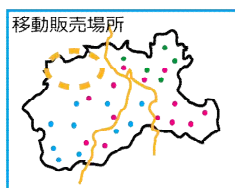
- バス情報、固定店舗情報、地域イベント情報 etc
- ⇒ 販売ルート最適化
- 新規ルートの検討

■ 見守り情報の収集

- 移動販売業者が持つタブレットから入力
- ⇒ 担当課がチェック
- ⇒ 対応が必要な場合は、民生委員、地域包括支援センター等と協力して対応

● “もやいマップ”の活用 ●

① 空白地帯のマッチング



△△ストアさん、○○地区に移動販売で行くことができますか？

移動販売業者

火曜日の夕方なら帰り道に寄ることができますよ。

役場／商工系

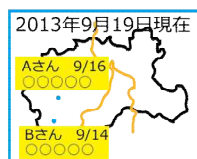
② 高齢者の見守り



Aさんは咳と腰痛なので、ちょっと様子を見に行っただ方がよさそうですね。今度の移動販売の時に合わせて行ってみますか。



役場／保健系



Bさんは普段通り元気そうなので、来週の食事会の時にお話すれば大丈夫でしょう。

③ 各課の連携による協議



バスや移動販売を使って、農作物の集荷ができないだろうか？

役場／農林系

時刻表を再検討してみましょう。

役場／交通系



□□商店さんのルートであれば可能かもしれません。

役場／商工系